富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和5年6月号
No.252

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

初夏の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき感謝いたします。
今月の掲載は、脳神経内科、新生児科、放射線看護外来です。

診療科の紹介　脳神経内科

外来受診表

	月	火	水	木	金
初 診	島	島	多田、小松	多田	多田、島/坂下
1 診			多田	多田	多田
2 診	島	島	小松		島/坂下

脳神経内科スタッフ
左から　多田医師、光地看護師、片桐金沢大学学生、島医師

◆診療体制

脳神経内科常勤は島と多田で、外来は金沢大学から非常勤として小松（毎週水曜）、坂下（金曜・隔週）が外来診察しています。４人とも日本神経学会の専門医です。初診の患者をご紹介頂く際には、地域連携室を通じて外来予約をお願い申し上げます。あらかじめ紹介状をファックスなどでいただくと準備ができますので助かります。予約がない場合は、紹介状を持参されても、当日の混み具合から診察ができず、後日の予約を取って、お帰りいただくことがあります。日中にご紹介の脳血管障害その他の急性期疾患は救急部で初期対応いたします。判断に迷う症例については、個別に対応いたします。

紹介状は、「担当医あて」としていただき、個人名は必要ではありません。脳卒中が疑われる際には、脳卒中担当医あてでご記載ください。当方の都合により初診の医師が変更になることもあります。ご了承いただけますと幸いです。

金曜日の２診は、第１、3、5 週は島、第 2、4 週は坂下が担当いたします。

◆診療内容

脳血管障害の救急対応については、脳神経外科と協力して脳卒中担当を決めて対応しています。脳梗塞急性期では発症から 4 時間半以内であれば rtPA 治療の適応となり、積極的に施行するようにしています。脳卒中に関しては、週１回合同カンファレンスを行い、病態などの検討をしたり、治療の妥当性の評価を行っています。脳以外のギラン・バレー症候群、脳炎、髄膜炎などの神経救急も行っています。外来では、難病の精査診断、内服調整や介護チームの構築なども行っています。

◆話題提供

〈片頭痛に対しての抗 CGRP 抗体製剤〉

頭痛について

頭痛は頻度の高い神経症状です。当院は急性期病院であることから、一次性頭痛の鑑別と同時に、見逃してはならない二次性頭痛を念頭に検査を行います。

救急搬送される頭痛の鑑別として重要なのは、突然発症の激しい頭痛→クモ膜下出血、雷鳴様頭痛→可逆性血管収縮症候群、主に後頭部痛→椎骨脳底動脈解離、血管奇形や静脈洞血栓症などの各種二次性脳出血などがあげられ、急性期治療が必要です。一方で、基本的に脳実質には痛覚神経が分布していないことから、頭部画像検査で異常が見られないことも多く、一次性頭痛は問診や詳細な診察で診断する必要があります。

片頭痛について

片頭痛は、①頭痛の１時間程度前から前兆がある、②頭痛により動けない、働けない、③嘔吐を伴う事が特徴です。急性期は軽症の頭痛であれば、市販の解熱鎮痛薬で対応できますが、重度の場合は、トリプタン製剤を処方します。予防薬としてよく使用されるのは、Ca 拮抗薬、アミトリプチリン、バルプロ酸などがあります。

抗 CGRP 抗体製剤の登場

抗 CGRP 抗体製剤が発売されました。片頭痛患者で予防薬投与にもかかわらず、月４回以上の頭痛発作がある患者様に１ヶ月に１回皮下注射をするものです。施設使用基準として、頭痛診療に関連する専門医認定を受けている医師が治療責任者にいること、二次性頭痛の鑑別のために頭部 MRI などが施行できる施設、必要時に適切な対処ができることなどがあげられます。投与の 70%に効果があるとされていますが、当院では、15 人使用し、14 人が頻度の減少、発作の強度の軽減の実感があり、皆さん満足度が高い印象でした。

１本４万円（保険適応で1万２千円）ほどと高額ですが、頭痛で動けない時間、通院回数などの手間、いつ頭痛が起こるか不安で過ごすことを考えると、十分にそれらの負担を軽減できると考えます。該当患者様がいらしたらご紹介いただけると幸いです。

〈アミロイドアンギオパチー関連炎症（CAA-RI)〉

アミロイドベータ蛋白は、アルツハイマー病の原因蛋白として知られていますが、それとは別で血管壁に沈着する、脳アミロイドアンギオパチー（CAA）という疾患があります。これは脳梗塞や脳出血を来しやすく日常診療でも珍しくはありません。今回我々は白質脳症を来す、アミロイドアンギオパチーを背景とした炎症を来した症例を経験したため提示します。

【症例提示】

症例：60 歳代女性

〈主訴〉

認知機能低下、幻視

〈臨床経過〉

22 歳時に交通事故による頭部外傷の既往あり。X 年 10 月より認知機能低下が出現し進行しました。X+1 年 4 月幻視が出現。頭部 MRI では FLAIR で白質に多発高信号域、脳溝狭小化、T2* で脳実質に低信号域の散在を認めました。5 月上旬に一過性局所神経症候と思われる右上肢の一過性感覚障害が出現。5 月中旬に右前頭葉病変から脳生検が施行され血管壁のアミロイド沈着、周囲の炎症細胞浸潤を認め、脳アミロイドアンギオパチー関連炎症（CAA-RI)と診断しました。メチルプレドニゾロンパルスを行い認知機能低下は軽度改

善、感覚障害や幻視は消失し脳浮腫は改善しました。

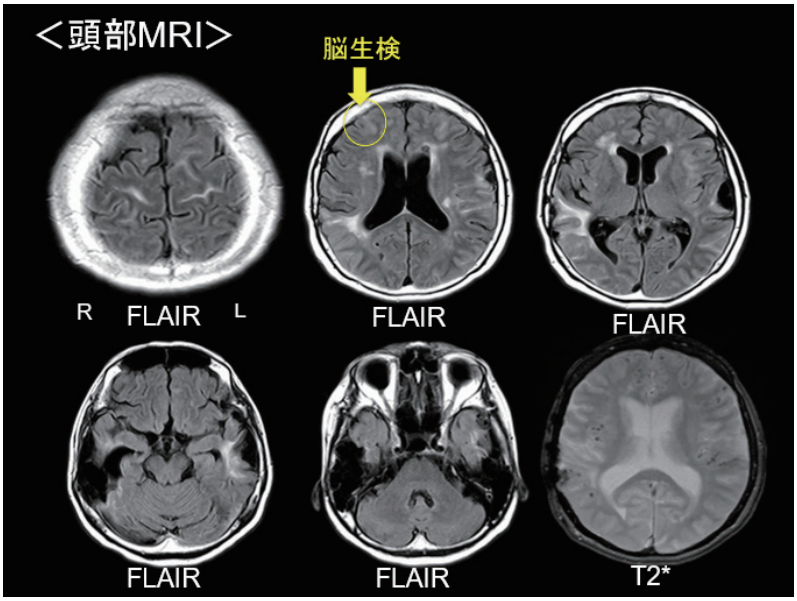
〈検査結果〉

脳生検で血管周囲にアミロイド沈着が証明でき、診断に至りました。治療により軽度ではありますが、認知症状が改善した経過であり、貴重な症例でした。白質脳症などの鑑別に考慮すべき病態と思います。

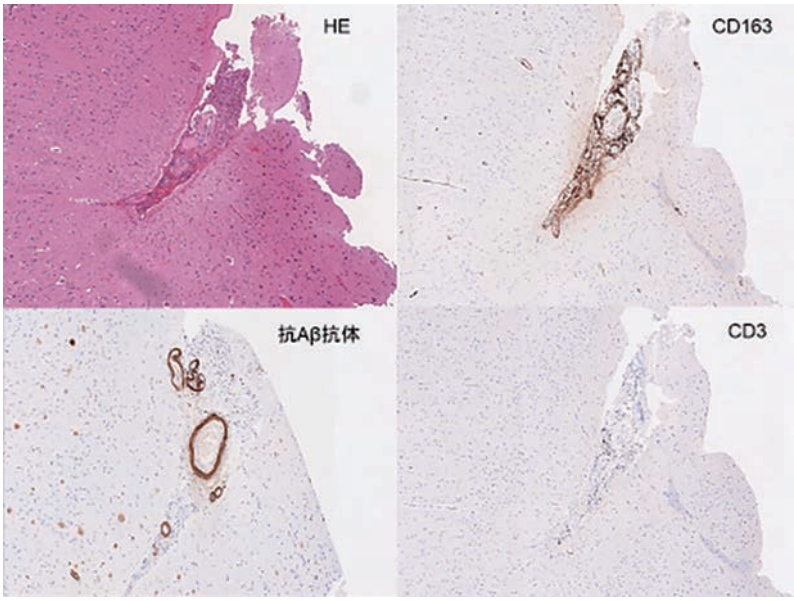
◆最後に

特に急性から亜急性に進行している症状の場合は、早急な対応が必要です。診断に苦慮される患者さんがおられましたら、ご紹介いただけましたら幸甚です。

（文責：島）



頭部 MRI：T2* にて微少出血が多発している。



脳病理：アミロイド沈着が血管壁に沿ってみられており、周囲の炎症細胞浸潤をみとめる。

新生児科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

当院は富山県唯一の総合周産期母子医療センターとして、早産児や呼吸障害をはじめとする様々な問題を持つ新生児に対し24時間体制で対応しています。県内の分娩施設で出生した新生児に対しては当院医師が救急車に同乗しNICUまで搬送しています。一刻を争うケースではドクターヘリでの搬送も行っています。退院後は当科にて成長発達のフォローアップや医療的ケアの支援を行っています。当院はWHO、ユニセフから「赤ちゃんにやさしい病院（Baby friendly hospital）」に認定されており、赤ちゃんができるだけ母乳で育てられるよう支援しています。NICUにいながら入院中の赤ちゃんといっしょに専門助産師による母乳外来を受診することも可能です。赤ちゃんとご両親が面会することは基本的な人権ですので、コロナ禍であっても当院ではご両親の面会を中断することはしませんでした。私たちは、これからも赤ちゃんとご両親にとって最も幸せとなるような医療を心がけてまいります。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長
ふたたに　たけし
二谷　武

【皆さんへ一言】
・いつでもお気軽にご相談ください。発達フォローアップも承ります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・新生児全般
【専門医資格】
新生児専門医・指導医、小児科専門医・指導医

部長
いな　しほみ
伊奈　志帆美

【皆さんへ一言】
・お子さんとご家族に寄り添った医療を心がけます。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・新生児全般、胎児超音波検査
【専門医資格】
新生児専門医、産婦人科専門医

部長
ひがしやま　ひろゆき
東山　弘幸

【皆さんへ一言】
・赤ちゃんとご家族の権利を最大限尊重することを目標にしています。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・新生児全般
【専門医資格】
新生児専門医、小児科専門医

部長
しまお　あやこ
嶋尾　綾子

【皆さんへ一言】
・お子さんとご家族の気持ちに寄り添った医療を心掛けています。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・新生児全般
【専門医資格】
新生児専門医、小児科専門医

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
午後（初診・再診）	伊　奈	二谷 / 東山	二　谷	2週間健診 / 1か月健診	嶋　尾

放射線看護外来のご紹介

がん治療は大きく「手術療法」、「薬物療法」、「放射線療法」に分けられ、近年、放射線療法は治療機器や技術の進歩、薬物療法との併用による治療成績の向上から、治療の選択肢として適応の幅が広がっています。また、局所治療であるため、臓器の形態・機能温存が可能で全身への副作用が少なく、QOLを高く保持できるという特徴があります。このことから、放射線治療は高齢者や全身状態が低下している患者さんでも治療可能と判断される場合が多く、入院せずに通院で治療を続けることも可能です。地域のかかりつけ医の先生方や看護師さんも当院で放射線治療中の患者さんと関わる機会があると思いますので、困りごと等があればご相談ください。

放射線看護外来では、治療中の不安が強い患者さんに対して個別面談で不安の軽減に努め、治療や副作用に関する情報提供を行っています。また、治療中盤～後半の皮膚炎や粘膜炎などの副作用が増強する時期には、症状やセルフケア状況を確認し、必要な指導を行っています。治療終了後も症状悪化の可能性がある場合や、セルフケア支援の継続が必要と判断した場合には、治療終了後も放射線看護外来で支援を継続しています。

放射線治療によって生じる晩期障害への支援として、頭頸部癌放射線治療後の頸部浮腫に対する相談に対応した事例がありました。患者さんの抱えておられる全人的な辛さに寄り添い、緩和ケア認定看護師や理学療法士とも相談して頸部の体操（リハビリ）を指導したことで、少しですが症状改善を認めました。晩期障害は難治性であり、出現した症状は受け入れて付き合っていかなければなりません。晩期障害の患者さんにできる支援は限られていますが、患者さんがほんの少しでも前向きに過ごせるように寄り添い、支えたいと思います。

患者さんの体調確認

個別面談

ご利用概要

日 時	月～金（9 時～ 15 時半）　※曜日不定
場 所	放射線治療（地下1F）　面談室
対 象	放射線治療を受ける患者・家族、治療後の患者・家族
内 容	・治療完遂支援（症状マネジメント、セルフケア支援、心理的支援） ・治療後の晩期障害に関する相談
受 付	放射線治療受付
担 当	がん放射線療法看護認定看護師

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、
環境整備を徹底して実施いたします。

7月開催予定

★第169回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年7月6日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年7月10日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和5年7月13日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和5年7月20日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　先端医療棟会議室1・2

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年7月 4、11、18、25日（火）16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

富山県立中央病院　リウマチ・和漢診療科
★漢方学術講演会
日 時：令和5年7月7日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

8月開催予定

★第170回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年8月3日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年8月21日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★富山県立中央病院がんセンター部キャンサーボード
日 時：令和5年8月22日（火）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年8月 1、8、15、22、29日（火）
16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。
お気軽にご参加ください。

2 7月の外来診療に関する医師不在日

科　名	医師名	不在日
循環器内科	臼田（和）医師	6日(木)、13日(木)
	丸山医師	4日(火)
	近田医師	6日(木)、7日(金)、10日(月)、24日(月)
精神科	石黒医師	4日(火)
呼吸器外科	新納医師	14日(金)
	川向医師	14日(金)
心臓血管外科	外川医師	28日(金)
	大高医師	31日(月)
	関医師	26日(水)、27日(木)
外科	加治医師	14日(金)
	天谷医師	12日(水)
乳腺外科	吉川(朱)医師	24日(月)
整形外科	香川医師	10日(月)
	山本医師	28日(金)
脳神経外科	齋藤医師	31日(月)
産婦人科	谷村医師	13日(木)、14日(金)
	南医師	14日(金)
	炭谷医師	10日(月)、11日(火)
	吉越医師	10日(月)、11日(火)、13日(木)、14日(金)
泌尿器科	瀬戸（親）医師	18日(火)
眼科	西野医師	14日(金)、18日(火)～20日(木)
耳鼻いんこう科	吉川（智）医師	5日(水)
歯科口腔外科	小島歯科医師	10日(月)
	倉部歯科医師	10日(月)
放射線診断科	阿保医師	3日(月)、4日(火)、13日(木)午前
	角谷医師	10日(月)

編集後記

梅雨の時期になりました。湿度が高く蒸し暑い印象ですが、最近は空梅雨もみられますね。また衣替えの時期でもあり衣服が軽くなり、身も心も軽やかな気分になります。

雨の日は個人的には好きです。薄暗い部屋にいるとすべての雑念から離れ、家事の放棄も許されるような気分になりボーッとするとストレスからも解放されます。たまった本を読んだり、雨粒を見上げたり、あじさいの葉のしたたる水滴に見入っています。

しかし予期せぬ雨量に各地で災害も起きており心が痛む日々です。

地域連携室では入院患者さんがスムーズに地域にかえり生活できるよう支援しています。これからもよろしくお願いします。

（文・撮影：地域連携室看護師 吉田弘子）

庭先あじさい

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○FAX　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/
地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp
医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp